

令和7年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会
特別養護老人ホーム
姫路・勝原ホーム

令和7年度 事業目標

目 標	職員間で利用者個々の課題を共有し、個々のニーズに合わせたサービスを提供していくことで安心できる生活が送れ、計画的に企画したプログラムを実施していくことで笑顔も増え、潤いのある生活を図っていくことで、稼働率 98%以上を目指す。
理 由	入居者個々の課題、ケア、業務に関する共通認識が図れておらず、新任職員やパート職員が不安を抱く要因になっているため。 24 時間シートを活用し、時間軸で利用者個々にどのような支援が必要なのかをわかりやすく可視化することで、新任職員やパート職員も不安なく統一したケアが実施できる環境を整えたいため。 計画的に企画したプログラムを実施していくことで楽しみやめりはりのある生活につなげ、心身の活性化を図りたいため。
具体的対応策	1. 入居者が潤いのある生活が営めるよう、入居者と職員が一緒に楽しめるレクリエーション、クラブ活動、行事を生活相談員とレクリエーション委員が中心となり、計画的に実施する。 2. ケアプランの共有化を図り、誰が見ても利用者個々のケア内容が分かるよう 24 時間シートを活用することで、職員が不安なく統一したケアが実施できるようにする。 3. 各種委員会活動、施設内研修を職員が企画、実施することで自己研鑽、意識、知識の向上を図る。 4. 目標稼働率 98%を達成するため、入居者が入院した場合、定期的に状態を確認し、円滑に退院できる体制を整える。退居があった場合は 1 日も早く新たな利用者が入居できるよう、判定・面接を事前に済ませておくだけでなく、候補者の家族との連絡を密にし、現状把握に努め、円滑な入居手続きを行う。

令和 7 年度 事業報告

事業報告	生活相談員とレクリエーション委員が中心となり、定期的に行っている花の会、書道、創作活動に加え、地域住民によるフルートや太鼓の演奏、コーラス、マジックショー、保育園児によるお祭りごっこの見学などコロナ禍以前の交流を徐々に取り入れ、入居者にとって、楽しみがあり、潤いのある生活につながるよう努めた。 時間軸で利用者個々にどのような支援が必要なのかを把握するための 24 時間シートの作成は、認識不足から実施までには至らなかったが、介護員会議の開催時間を変更し、出席者に不安や支援手順の統一を図りたいことを尋ね、意識統一に努めた。また、変更した内容や伝達事項は、連絡帳への記載のみでなく、掲示し、情報共有に努めた。 年間研修計画に沿って、各委員会がそれぞれの特長を踏まえた内容を企画し、施設内研修を実施していることは知識の向上と自己研鑽による意識付けにつながっている。 令和 7 年度は退居者 19 名、入院者も 29 名と令和 6 年度に比べて多く、稼働率は 97.2%と目標の 98%には至らなかった。利用者が入院した場合、定期的に状態を確認し、円滑に退院できる体制を整えたり、退居があった場合は 1 日も早く新たな利用者が入居できるよう、次期利用予定家族との連絡を密にし、現状把握に努め、円滑な入居手続きを行ったりするなど改善に向け、取り組んでいきたい。
事業運営総括	年間平均介護度は 4.19、令和 6 年度の 4.20 と概ね変わらない中、年間稼働率は、退居者は 19 人と多く、加齢に伴う疾病や体調不良、骨折に伴う入院延日数が 424 日と、令和 6 年度の 156 日から大幅に増え、稼働率の低下の要因にあげられるため、健康管理や事故予防対策に力を注いでいきたい。 事故に関しては、転倒による骨折が 3 件、転落による裂傷が 1 件あり、利用者の状態に応じた見守りや支援のあり方が問われており、ヒヤリハット報告書の活用を踏まえ、情報共有・共通認識に基づくリスクマネジメントなど意識改革による改善をすすめたい。 また、職員に應對に関する苦情が 2 件あり、どのような環境下でも法人理念である「いたわりと思いやり」を意識した支援のあり方も問われ、各職員の自己覚知を図りつつ、利用者や家族の想いに寄り添った支援の継続に努めていきたい。 令和 8 年度は導入している見守りセンサーやインカムなど介護機器利用に関する評価を含め、生産性の向上を図り、業務改善につなげるとともにチームワークによる多職種協働による支援の意識づけに努めていきたい。

要介護度の状況 《平均要介護度 4.12》

令和8年3月31日 現在

	人数	割合
要介護1	0	0%
要介護2	0	0%
要介護3	13	22.8%
要介護4	24	42.1%
要介護5	20	35.1%
合 計	57	100%

月間利用実績（人数） 《年間平均要介護度 4.19》

令和7年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	11	11	12	12	12	13	13	13	14	14	14	13	152
要介護4	24	24	23	24	22	21	21	21	21	21	23	24	269
要介護5	23	24	23	23	26	25	23	24	23	23	22	22	281
合 計	58	59	58	59	60	59	57	58	58	58	59	59	702
平均要介護度	4.21	4.22	4.19	4.19	4.23	4.2	4.18	4.19	4.16	4.16	4.14	4.15	4.19

月間利用実績（延べ人数） 《稼働率97.2%》

令和7年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	330	341	354	372	372	385	403	390	414	422	344	403	4,530
要介護4	697	690	653	706	637	620	651	630	651	629	606	695	7,865
要介護5	660	723	671	713	724	704	700	710	713	683	559	623	8,183
合 計	1,687	1,754	1,678	1,791	1,733	1,709	1,754	1,730	1,778	1,734	1,509	1,721	20,578
稼働率	97.0	97.6	96.4	99.6	96.4	98.2	97.6	99.4	98.9	96.4	92.9	95.7	97.2%

保険者の状況

令和8年3月31日 現在

保険者	男	女	計
姫路市	8	39	47
太子町	2	5	7
たつの市	0	2	2
倉敷市	0	1	1
相生市	0	0	0
合 計	10	47	57

入所前の居所

令和8年3月31日 現在

	男	女	計
居 宅	4	27	31
介護老人保健施設	1	1	2
介護療養型医療施設	0	0	0
医療機関	3	11	14
高齢者住宅	1	2	3
グループホーム	1	4	5
有料老人ホーム	0	1	1
特別養護老人ホーム	0	0	0
障害者福祉施設	0	1	1
合 計	10	47	57

入所申込者の状況

令和8年3月31日 現在

男	101
女	175
合 計	276

年齢構成状況

令和8年3月31日 現在

	最 少 年 齢	最 高 年 齢	平 均 年 齢
男	78	96	86
女	74	106	87.9
全 体	74	106	87.6

年齢別構成状況

令和8年3月31日 現在

	70 歳 未 満	70 歳 以 上 か ら 75 歳 未 満	75 歳 以 上 か ら 80 歳 未 満	80 歳 以 上 か ら 85 歳 未 満	85 歳 以 上 か ら 90 歳 未 満	90 歳 以 上	合 計
男	0	0	1	4	3	2	10
女	0	2	2	9	16	18	47
全 体	0	2	3	13	19	20	57

在所期間の状況

令和8年3月31日 現在

	1年未満	1年以上 から 3年未満	3年以上 から 5年未満	5年以上 から 10年未満	10年以上	合 計	1人当たり 平 均 在 所 期 間
男	6	1	1	1	1	10	3年0ヶ月
女	9	20	6	7	5	47	3年9ヶ月
全体	15	21	7	8	6	57	3年8ヶ月

入退所の状況

令和7年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
入 所	0	2	1	1	3	2	0	0	0	0	4	4	17
退 所	1	2	0	2	3	1	0	0	0	3	4	3	19

入院の状況（入院人数）

令和7年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
入院人数	2	3	4	0	2	2	2	1	2	4	4	3	29
延べ日数	46	38	55	0	34	19	44	10	20	38	83	37	424

外出・外泊状況（人数）

令和7年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
外 出	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4
外 泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

家族の訪問状況（回数）

令和7年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
訪問回数	110	129	111	146	140	157	165	166	168	181	116	207	1,796

日常生活状況

令和8年3月31日 現在

区 分		実数	割合
歩 行	自 力 歩 行	0	0.0%
	杖等歩行補助器具使用	3	5.3%
	車 い す 使 用	54	94.7%
食 事	自 分 で 可 能	32	56.1%
	一 部 介 助	5	8.8%
	全 介 助	20	35.1%
入 浴	自 分 で 可 能	0	0.0%
	一 部 介 助	16	28.1%
	全 介 助	41	71.9%
着 替	自 分 で 可 能	3	5.3%
	一 部 介 助	21	36.8%
	全 介 助	33	57.9%

区 分				実数	割合
排 泄	昼 間	トイ レ	自分で可能	5	8.8%
			介 助	16	28.1%
		おむつ使用		36	63.1%
	夜 間	トイ レ	自分で可能	4	7.0%
			介 助	2	3.5%
		おむつ使用		51	89.5%
認 知 症 高 齢 者				57	100%

障害高齢者自立度

令和8年3月31日 現在

	J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	合 計
人 数	0	0	1	2	14	27	5	8	57
割 合	0.0%	0.0%	1.8%	3.5%	24.6%	47.3%	8.8%	14.0%	100%

認知症高齢者自立度

令和8年3月31日 現在

	正常	I	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b	Ⅳ	M	合 計
人 数	0	6	0	5	15	12	18	1	57
割 合	0.0%	10.5%	0.0%	8.8%	26.3%	21.0%	31.6%	1.8%	100%

入浴の実施状況

令和8年3月31日 現在

特 殊 浴 槽 に よ る 入 浴				一 般 浴 槽 に よ る 入 浴			
対 象 人 員	1人1週当り の 回 数	実施日1日 当りの人員	入浴の実施曜日 及び時間帯	対 象 人 員	1人1週当り の 回 数	実施日1日 当りの人員	入浴の実施曜日 及び時間帯
32	2	10 ~ 11	月～土曜日 13:30～16:30	25	2	7 ~ 10	月～土曜日 13:30～16:30

理学療法・作業療法の実施状況

令和7年度

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	合 計
理 学 療 法	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	1	2	22
作 業 療 法	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
合 計	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	3	4	46

地域交流の実績（令和7年度）

年 月 日	内 容 (行 事 の 名 称 等)	参 加 者 の 内 訳			
		家 族	地域 住民	ボラン ティア	そ の 他
4月8日	観桜会				0
4月8日	お菓子販売				0
4月9日	花の会				0
4月21日	散髪			2	2
4月22日	散髪			3	3
4月22日	お菓子販売				0
4月23日	花の会				0
小 計		0	0	5	0
5月5日	下太田花まつり見学				0
5月13日	お菓子販売				0
5月14日	花の会				0
5月19日	散髪			2	2
5月20日	散髪			3	3
5月27日	お菓子販売				0
5月28日	花の会				0
小 計		0	0	5	0
6月6日	バーベキュー大会				0
6月10日	お菓子販売				0
6月11日	花の会				0
6月16日	散髪			2	2
6月17日	散髪			3	3
6月24日	お菓子販売				0
6月25日	花の会				0
小 計		0	0	5	0
7月8日	お菓子販売				0
7月9日	花の会				0
7月16日	不在者投票				0
7月21日	散髪			2	2
7月22日	散髪			3	3
7月22日	お菓子販売				0
7月23日	花の会				0
小 計		0	0	5	0

地域交流の実績（令和7年度）

年 月 日	内 容 (行 事 の 名 称 等)	参 加 者 の 内 訳				計
		家 族	地域 住民	ボラン ティア	そ の 他	
8月12日	お菓子販売					0
8月13日	花の会					0
8月18日	散髪			2		2
8月19日	散髪			3		3
8月22日	納涼祭					0
8月26日	お茶教室			1		1
8月26日	お菓子販売					0
8月27日	花の会					0
8月31日	フルーツ演奏会			2		0
小 計		0	0	8	0	6
9月9日	お菓子販売					0
9月10日	花の会					0
9月12日	お菓子販売					0
9月15日	寿会					0
9月16日	散髪			3		3
9月18日	つくしの会			12		12
9月22日	散髪			2		2
9月23日	お菓子販売					0
9月24日	花の会					0
小 計		0	0	17	0	17
10月8日	花の会					0
10月12日	下太田秋祭り見学					0
10月14日	お菓子販売					0
10月18日	朝日谷獅子舞い見学			10		10
10月20日	散髪			2		2
10月21日	散髪			3		3
10月21日	魚吹八幡神社秋祭り見学					0
10月22日	花の会					0
10月28日	お菓子販売					0
小 計		0	0	15	0	15

地域交流の実績（令和7年度）

年 月 日	内 容 (行 事 の 名 称 等)	参 加 者 の 内 訳				
		家 族	地域 住民	ボラン ティア	そ の 他	計
11月8日	太鼓ボランティア			7		7
11月11日	お菓子販売					0
11月12日	花の会					0
11月15日	やながせ文化祭		378			378
11月17日	散髪			2		2
11月18日	散髪			3		3
11月25日	お菓子販売					0
11月26日	花の会					0
小 計		0	378	12	0	390
12月19日	お菓子販売					0
12月10日	花の会					0
12月15日	散髪			2		2
12月16日	散髪			3		3
12月23日	クリスマス会					0
12月23日	お菓子販売					0
12月24日	花の会					0
12月26日	餅つき大会					0
小 計		0	0	5	0	5
1月1日	書初め					0
1月9日	下太田とんど見学					0
1月13日	お菓子販売					0
1月14日	花の会					0
1月15日	初詣（魚吹八幡神社）					0
1月16日	初詣（魚吹八幡神社）					0
1月19日	散髪			2		2
1月20日	散髪			3		3
1月21日	お茶教室			1		1
1月27日	お菓子販売					0
1月28日	花の会					0
小 計		0	0	6	0	6

地域交流の実績（令和7年度）

年 月 日	内 容 (行 事 の 名 称 等)	参 加 者 の 内 訳			
		家 族	地域 住民	ボラン ティア	そ の 他
2月3日	節分				0
2月3日	不在者投票				0
2月10日	お菓子販売				0
2月10日	花の会				0
2月16日	散髪			2	2
2月24日	お菓子販売				0
2月25日	花の会				0
小 計		0	0	2	0
3月10日	お菓子販売				0
3月11日	花の会				0
3月16日	散髪			2	2
3月17日	散髪			3	3
3月24日	お茶教室			1	1
3月24日	お菓子販売				0
3月25日	花の会				0
小 計		0	0	6	0
合 計		0	378	91	0

施設実習の実績（令和7年度）

内 容 (各学校の名称等)	実 習 期 間	受入人数	延日数 合計
県立龍野北高等学校	6月9日～20日（10日間）	2	20
関西福祉大学	8月18日～9月19日（24日間）	1	24
ハーベスト医療福祉専門学校	8月18日～9月29日（26日間）	1	26
県立龍野北高等学校	9月4日～9月26日（15日間）	2	30
県立龍野北高等学校	9月29日～10月2日（4日間）	3	12
神戸学院大学	10月1日～2日、9日～10日、16日～17日、30日～31日（8日間）	1	8
朝日中学校（トライ・やるウィーク）	10月27日～31日（5日間）	3	15
県立太子高等学校	10月29日～31日（3日間）	2	6
県立龍野北高等学校	11月4日～17日（10日間）	2	20
姫路市市民後見人等養成研修	11月12日	1	1
姫路医療センター付属看護学校	2月2日～5日（4日間）	4	12
関西福祉大学	2月2日～17日（8日間）	1	8
	2月24日～3月5日（8日間）	1	8
合 計		24	190

職員間の内部研修の実施状況（令和7年度）

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参加人数	期 間	講師（職・氏名）
基本理念・接遇研修	法人理念・服務心得・ハラスメント、高齢者虐待・人権意識、個人情報保護について	常勤職員	76名	4月1日～4月28日	事務長、管理者
認知症研修	認知症の種類、中核症状、認知症利用者の思いについて	全職種	60名	5月26日～5月30日	認知症委員会
食中毒予防研修	食中毒予防・非常食について	全職種	47名	6月9日～6月13日	栄養委員会
安全対策研修	消火器の使い方について	全職種	37名	7月14日～7月18日	災害・安全対策委員会
身体拘束・虐待廃止研修	スピーチロック、言葉の言い換えについて	介護職員	34名	8月25日～8月29日	身体拘束・虐待廃止委員会
リスクマネジメント研修	リスクマネジメント、上半期事故報告集計結果について	全職種	56名	9月22日～9月26日	リスク管理委員会
介護生産性向上研修	インカムについて	介護、看護職員	24名	10月27日～10月30日	介護生産性向上委員会
感染症予防研修	ノロウイルス感染症における初動対応（実技）について	全職種	42名	11月24日～11月29日	感染・衛生委員会
看取り介護研修	死生観について	介護、看護職員	20名	12月15日～12月21日	医療的ケア安全対策委員会
災害・安全対策研修	心肺蘇生法について	全職員	33名	1月19日～1月23日	災害・安全対策委員会
身体拘束・虐待廃止研修	虐待防止に関する指針について	全職種	41名	2月23日～2月27日	身体拘束・虐待廃止委員会
リスクマネジメント研修	リスクマネジメント、ヒヤリハット集計について	全職種	53名	3月23日～4月3日	リスク管理委員会

参加職員は併設事業所も含む。

法人内研修の実施状況 (令和7年度)

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期間	講師(職・氏名)
接遇強化研修	接遇マナーの基本、高齢者尊厳・法人理念と倫理を意識した接遇、不適切な応対・支援による虐待へのメカニズム、感情マネジメントについて	全職種	89名	7月15日、24日 8月5日、19日	株式会社ニッソーネット

講習会(セミナー)開催状況 (令和7年度)

講習会(セミナー)名	講習会(セミナー)内容	日付	参加人数	場所	担当者(職種)
介護業務イメージアップ推進事業出前講座 (兵庫県委託事業)	講義「障がい(バリア)、車いすについて」	9月22日	4年生 138名	姫路市立大津小学校	事務長
介護業務イメージアップ推進事業出前講座 (兵庫県委託事業)	講義「高齢者の特徴、車いすの介助方法について」 実技・実習「車いすの自乗、介助の体験」	10月6日	4年生 101名	姫路市立勝原小学校	生活相談員 事務長
介護業務イメージアップ推進事業出前講座 (兵庫県委託事業)	講義「福祉、社会福祉協議会について」 実技・実習「車いすの自乗、介助の体験、高齢者疑似体験、ボッチャ」 ※依頼団体：日本ボークラスアウト兵庫連盟 姫路第6団	2月8日	18名	大津みやび野ホム	生活相談員 事務長

職員の外部研修の受講状況

(令和7年度)

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参加人員	日 付	期 間	場 所	研修結果の報告方法
姫路市老人福祉施設連盟 第1回施設長・職員研修会	福祉避難所設置について	施設長 管理者 事務長	3名	5月15日	1日間	ホテルモントレ姫路	口頭
姫路市監査指導課 社会福祉施設等新任職員研修	介護従事者の専門性、心構え、マナー、接遇について	介護員	1名	6月20日	1日間	姫路市役所北別館	口頭
近畿老人福祉施設協議会 和歌山大会	介護・福祉が支える地域社会の未来（社会情勢の変化に対応した介護・福祉サービスの提供）、介護DX、介護人材の確保・育成・定着、災害時における介護サービスの提供について	施設長	1名	7月10日 7月11日	2日間	和歌山城ホール	口頭
姫路市老人福祉施設連盟 ケアプラン研修会	ケアプラン作成における視点及び手法（CADL:文化的日常生活行為が切り拓く施設ケアの未来、本人らしさを尊重することの価値）について	介護支援専門員	1名	7月22日	1日間	ホテルモントレ姫路	口頭
兵庫県社会福祉法人経営者協議会研修会	社会福祉法人における人材戦略（人が集まり、活躍する組織づくり）について	施設長 事務長 事務員	3名	7月24日	1日間	神戸クリスタルタワー	口頭
兵庫県社会福祉法人経営者協議会 経営計画普及セミナー	社会福祉法人における経営計画の必要性、経営計画の取組み効果と策定の実際について	事務員	1名	7月31日	1日間	オンライン研修	口頭
はりま総合福祉評価センター 中間管理職研修	中間管理職の役割（リスクマネジメントと業務改善）について	管理者 生活相談員	2名	8月5日	1日間	姫路市総合福祉会館	口頭
姫路市監査指導課 虐待防止研修	不適切の本質、イライラしたときの対処法、虐待をなくすための現場の取り組み、身体拘束等適正化検討委員会の進め方について	事務長	1名	8月13日	1日間	オンライン研修	口頭
姫路市監査指導課 社会福祉施設職員感染症対策（管理者）研修	施設の感染症対策、基本知識、施設の体制作りについて	事務長	1名	8月22日	1日間	オンライン研修	口頭
一般社団法人兵庫県老人福祉事業協会 軽費・ケアハウス部会職員研修会	認知症の方とのコミュニケーション法「バリデーション」の実践について	生活相談員 介護職員	1名	9月2日	1日間	兵庫県福祉センター	口頭
令和7年度兵庫県DWAIT養成（基礎）研修	兵庫県DWAITの現状と災害対策基本等の改正内容、被災地での活動、DWAITの活動とDWAITの連携、避難所における福祉ニーズ、一般避難所での災害派遣福祉チームの活動について	事務長	1名	9月8日	1日間	アクリエひめじ	口頭

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参加人員	日 付	期 間	場 所	研修結果の 報告方法
兵庫県社会福祉法人経営者協議会・青年協議会令和7年度第1回定例研修会	社会福祉法人におけるＤＸ化（取り組みのポイントと導入事例）について	事務員	1名	9月12日	1日間	三宮研修センター	口頭
令和7年度兵庫DMAT養成（基礎）研修	兵庫DMATの現状と災害対策基本等の改正内容、被災地での活動、DMATの活動とDMATの連携、避難所における福祉ニーズ、一般避難所での災害派遣福祉チームの活動について	生活相談員	1名	9月12日	1日間	兵庫県福祉センター	口頭
全国社会福祉法人経営者大会	社会福祉法人をめぐる動向と全国経営協の取り組み、戦国武将に学ぶリーダーシップ、人材確保と魅力発信、社会福祉法人が地域とともに描く2040年の社会ビジョン、ウェルハスの推進と期待について	施設長	1名	9月18日 9月19日	2日間	ヒルトン福岡シーホーク	口頭
姫路市老人福祉施設連盟 第3回生活相談員対象研修会	対人援助職者としての基本と目標について	施設長 生活相談員	2名	9月22日	1日間	ホテルモントレ姫路	口頭
一般社団法人兵庫県老人福祉事業協会 調査研究委員会職員研修会	キャリアパス・人材育成計画・新規採用者育成計画 “県老協モデル”活用方法について	事務長	1名	9月25日	1日間	オンライン研修	口頭
近畿老人福祉施設協議会 高齢者施設向け生成ＡＩツール活用実践 セミナー	ChatGPTの実践について	管理者 生活相談員	2名	10月3日	1日間	OMM	口頭
一般社団法人兵庫県老人福祉事業協会 倫理及び法令遵守、プライバシー保護研 修	倫理及び法令遵守、プライバシー保護について	事務長	1名	10月16日	1日間	オンライン研修	口頭
姫路市成年後見支援センター 公開講座	成年後見制度、利用のタイミングと流れについて	介護職員	1名	10月27日	1日間	姫路市総合福祉会館	口頭
税理士法人稲田会計 社会福祉法人向けセミナー	指導監査ガイドライン（会計管理）、S-BAST に基づく予算管理について	事務長 事務員	2名	11月7日	1日間	三宮研修センター	口頭
姫路市老人福祉施設連盟 人材育成及び定着研修会	行動傾向を知り、コミュニケーションの達人になる ことについて	施設長	1名	11月14日	1日間	ホテルモントレ姫路	口頭
兵庫県公安委員会 安全運転管理者講習	安全運転について	事務長	1名	12月4日	1日間	姫路市市民会館	口頭

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参加人員	日 付	期 間	場 所	研修結果の報告方法
姫路市監査指導課 社会福祉法人運営研修	社会福祉法人における中期経営計画の策定について	事務員	1名	12月19日	1日間	オンライン研修	口頭
姫路市監査指導課 労務管理研修	ストレスチェック、育児・介護休業法改正、労働条件の明示、社会保険の加入要件の改正、直近の法改正について	事務員	2名	1月16日	1日間	オンライン研修	口頭
一般社団法人兵庫県老人福祉事業協会 外国人介護人材確保・定着に向けた研修会	外国人人材に関する制度動向と確保定着、外国人介護人材の受け入れによるメリットとデメリットについて	事務長	1名	1月21日	1日間	兵庫県福祉センター	口頭
兵庫県社会福祉法人経営者協議会 都道府県セミナ	社会から認められる社会福祉法人、A Iで仕事が変わる活用のコツ、災害派遣福祉チーム（DWA T）における兵庫県の現状、ほっとかへんネットの取り組み等について	施設長	1名	1月23日	1日間	兵庫県福祉センター	口頭
姫路市監査指導課 労務管理研修	ストレスチェック、育児・介護休業法改正、労働条件の明示、社会保険の加入要件の改正、直近の法改正について	事務長	1名	1月23日	1日間	オンライン研修	口頭
一般社団法人兵庫県老人福祉事業協会 令和7年度施設長研修会	人を動かす世界最高の話し方、高齢者の安心確保の推進、社会福祉法人の指導監督、育児・介護休業法改正のポイント、人に寄り添うということについて	施設長	1名	2月5日 2月6日	2日間	神戸メリケンパークオリエンタルホテル	口頭
令和7年度兵庫DWA T養成（基礎）研修	兵庫DWA Tの現状と災害対策基本等の改正内容、被災地での活動、DWA Tの活動とDWA Tの連携、避難所における福祉ニーズ、一般避難所での災害派遣福祉チームの活動について	管理者	1名	2月17日	1日間	姫路市総合福祉会館	口頭
姫路市老人福祉施設連盟 栄養士研修会	摂食嚥下障害の理解と安全な食事、高齢者施設向け最新給食事情について	施設長 管理栄養士	2名	3月27日	1日間	ホテルモントレ姫路	口頭

避難訓練（令和7年度）

実施日	訓練種目	訓練内容
4月24日	部分訓練	非常放送設備等取り扱いに関する説明を行い、避難訓練時の確認と理解を図る。
5月24日	夜間訓練	夜間体制での避難訓練の流れの確認
6月19日	夜間訓練	夜間体制での避難訓練の流れの確認
7月25日	夜間訓練	夜間体制での避難訓練の流れの確認
8月21日	総合訓練	日中体制での避難訓練の流れの確認
9月17日	夜間訓練	夜間体制での避難訓練の流れの確認
10月23日	防災（水害）訓練	河川が避難判断水位に達した場合の垂直避難など流れの確認
11月20日	夜間訓練	夜間体制での避難訓練の流れの確認
12月17日	総合訓練	日中体制での避難訓練の流れの確認
1月22日	夜間訓練	夜間体制での避難訓練の流れの確認
2月19日	総合訓練	日中体制での避難訓練の流れの確認
3月19日	夜間訓練	夜間体制での避難訓練の流れの確認

苦情対応

発生日	苦情内容	解決方法
令和8年 1月6日	「介護職員の対応について」 利用者本人から非がない自身の言動に対し、邪魔臭そうにあつかましく対応されたことに加え、居室にて職員が辞めていくと叱責されたため、締め付けられた感じで、気分を害しているのを、対応など接遇に関して、改善してほしいとの申し出がある。	①不適切な対応について謝罪する。 ②朝礼や会議等でこの旨を伝え、各職員に注意喚起し、思いやりやいたわり、人権の尊重を意識した対応や支援に努めることを説明する。 ③あわせて、支援時には、言葉をかけ、落ち着いた対応や一般常識に基づいた生活支援を心がけていくことを説明すると理解は得られた。
令和8年 3月13日	「介護職員の対応について」 利用者本人から、早朝にトイレでの排泄支援を依頼したところ、忙しいと言葉遣いがきつい返答があった。再度、依頼すると支援を受けられたが、監視をされ、締め付けられているような感じで、気遣いが欠けていることから対応など接遇に関して、改善してほしいとの申出がある。	①不適切な対応で気分を害されたことに関して、陳謝する。 ②朝礼や会議等でこの旨を伝え、各職員に注意喚起し、行動を制限するような言葉遣いは避け、都度の想いを察した対応や支援に努めることを説明する。 ③加えて、所作や振舞に十分に注意を払い、心がけていくことを説明すると理解は得られた。

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
令和 7 年 4 月 25 日	「左側頭部裂傷」 便座への移乗後、ズボンの汚染があり、他職員に替えのズボンを依頼するため、その場を離れる。戻ると左側臥位に転落している姿を発見する。 左頭部からの出血と皮下血腫の腫脹、隆起があり、病院を受診し、3 針縫合する。	①便座への移乗後、座位姿勢を確認し、肘置きを降ろす。 ②着替えが必要など諸事情によりその場から離れる場合は、再度、状態を確認してから離れる。 ③座位が不安定で転落が案じられる利用者には、失敗による衣類の汚染を想定し、事前に着替えを用意し、トイレでの排泄支援にあたる。
令和 7 年 12 月 19 日	「右大腿骨骨折」 渡り廊下にて、手すりを持ったまま、左側臥位で倒れているのを発見する。 右大腿部の痛みと痺れがあり、病院を受診したところ、右大腿骨骨折と診断される。	①加齢に伴う筋力低下を説明し、現存機能に応じた自主運動を行うように依頼する。 ②人通りの多く、職員が見える範囲で自主運動を行うように依頼する。 ③自主運動開始前に職員への言葉かけを依頼し、動作始動時の留意点を説明する。 ④身体機能の低下や状態変化を踏まえた対応など情報の共有化を図り、情報に基づいた支援の実行に努める。
令和 8 年 2 月 19 日	「右肋骨骨折」 ナースコールが鳴り、訪室するとベッドから転落している姿を発見する。 外傷はないが、右背部に痛みがあり、受診をすすめるが、本人が嫌がり、湿布を貼り、経過を観る。 痛みがひかず、病院を受診したところ、右肋骨骨折と診断される。	①ナースコールの利用を勧め、起床時などベッドからの起き上がり動作時には、傍で見守る。 ②日々の生活活動を通じた運動など、筋力の増強につながる日常生活動作運動を勧める。 ③身体機能の低下や状態変化を踏まえた対応など情報の共有化を図り、情報に基づいた支援の実行に努める。
令和 8 年 3 月 22 日	「右上腕骨骨折」 手首の痛みの訴えがあったが、腫れもなく、経過を観ていたところ、夜間帯に右上肢の腫脹を確認し、翌 23 日に病院を受診したところ、右上腕骨骨折と診断される。	①体動が激しく、ベッド傍に設置しているマット上で臥床しているため、ベッドのフレームにクッションをあて、衝撃緩和に努める。 ②臥床状態に応じて、クッションをあてる。 ③随時、訪室し、臥床状態を確認する。 ④マットからベッドへの移乗介助を行う。